ひだか平和新聞

第９巻第７号(通巻 96 号) ８月号　2009 年　８月 15 日

日高市平和委員会
事務局　日高市横手２-3-12
ｔｅｌ・ｆａｘ　xxx-xxxx

「核兵器のない世界を」署名集め国連へ

ファミリーまるひろ前で日高市原水協が宣伝・署名活動

買物客にチラシを配り署名活動をする日高市原水協の人たち

長崎に原爆が投下されて６４年目の８月９日午前、日高市平和委員会も加盟する日高市原水協はファミリーまるひろ前で「核兵器のない世界を」実現するための宣伝・署名活動に取り組みました。この日長崎では原水爆禁止世界大会が開催中で、それに呼応する行動となりました。

いま国の内外で取り組まれている「核兵器のない世界を」署名は、昨年の原水爆禁止世界大会で採択された同名のアピールに基づくもので、本紙７月号の２面に掲載したものです。来年５月ニューヨークで開かれる核拡散防止条約(NPT)再検討会議に向けて 1200 万筆を集め、「核保有国はじめすべての国の政府がすみやかに核兵器禁止・廃絶条約の交渉を開始し、締結すること」を迫るものです。

オバマ米大統領が今年 4 月プラハで「核兵器のない世界をめざす」と演説したことを契機に運動は大きく広がり、今年の原水爆禁止世界大会はかってなく沢山の海外代表が参加し、活気に満ちたものになりました。日高市原水協はこの運動を草の根から支えようと、この日の取り組みになりました。

当日は、地元の夏祭りや他の行事と重なったこともあって参加者は 4 名でしたが、1 時間余りの間に 22 筆の署名が寄せられました。参加者はこの日をきっかけに、日高でも来年 5 月の NPT 再検討会議に向けて 6・9 行動(原爆投下の 6 日、9 日に合わせ毎月 6・9 のいづれかに核兵器廃絶のための宣伝、署名に取り組む全国行動)を行おうと決意し、次回はもっと沢山の人に働きかけることになりました。

原稿を募集します

会員紹介

日高市平和委員会は今年創立一〇周年を迎え、機関誌も九六号を数えました。しかし、この「ひだか平和新聞」、機関誌としての役割を果たしているのかどうか？次の理事会で検討を加えようと考えています。会員の皆さんも率直なご意見をお寄せください。

今回、改善の試みとして、会員の皆さんから原稿を寄せていただき紙面を楽しくしようと考えました。手始めに「会員紹介」のコラムを設けることにし、自己紹介の一文を寄せていただこうと思います。内容は問いません、例えば「私の平和への想い」など日ごろ思っていることとご自身について、最近の出来事とのかかわりで考えていること、思い出等々。自己紹介を兼ねて原稿を寄せていただきたいと思います。文字数は概ね六〇〇字前後、多少の長短はこだわりません。全会員一巡するまで連載予定です。気軽に原稿をお寄せください。お待ちしています。